

音楽グループ研究会

グループ員：	宮脇 一三	(有岡小学校)	大倉 里美	(伊丹小学校)
	山本 泰子	(稲野小学校)	田中 真由美	(南小学校)
	福山 純子	(神津小学校)	花谷 佳子	(桜台小学校)
	山田 裕子	(天神川小学校)	佐伯 絢菜	(瑞穂小学校)
	高木 美穂	(花里小学校)	鈴木 佳子	(昆陽里小学校)
	東馬場 麻衣	(摂陽小学校)	中田 理恵子	(鈴原小学校)
	山下 雅代	(池尻小学校)		

担当指導主事：中田 智継

キーワード：ICTの活用・教科書教材の指導法・評価

1 研究テーマ

「新しい音楽授業の工夫 (DTM・ICTの活用も含む)」

2 研究内容

(1) 教材(教科書)の指導とその評価の研修

器楽領域として、4年生「音のカーニバル」、歌唱「歌おう声高く」から鑑賞曲「アルルの女」第1組曲「かね」につなげる指導方法、歌唱「パレードホッホー」から鑑賞曲「アルルの女」第2組曲「ファランドール」につなげる指導方法について意見交換を行った。教材としては鍵盤ハーモニカの音や高さを理解するための鍵盤運指カードをつくり、グループにおける創作活動でも活用できるように、音程が視覚的に分かるシールを貼る等の工夫を考えた。

(2) ICTの操作及び活用、オーディオ機器についての研修

- ① ICT及びオーディオ機器の各校音楽室環境の現状報告を行った。
- ② 電子黒板、書画カメラの操作などを確認した。
- ③ タブレットの操作や活用方法、ソフトの検討を行った。
- ④ 音楽ソフトの操作方法を研修した。

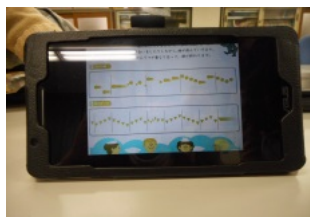
3 成果と課題

(1) 成果

- ① 課題を年度当初に出し、研修を進める中で各教師の工夫や取り組みを聞くことが出来て良かった。さらに自分なりの工夫も生まれ、様々なアプローチがあり、教材理解が進んだ。
- ② 各校ICT・オーディオ機器について、効果的で効率的な活用を見出すことができた。
- ③ 鍵盤運指カードについて、音や音の高さが理解しやすくなるような使い方の工夫を研修できた。

(2) 課題

各校でICT環境に工夫があり、多様な機器が使われている。各校の使い方を情報共有し、研修を深めることにより活用方法を広げていきたい。



タブレット



ICT 機器



鍵盤運指カード